

●長崎県立大学 平成31年度第13回教育研究評議会 議事録

日時	令和2年1月7日(火) 14:40~15:40
場所	シーボルト校特別会議室
出席者	木村学長、古河副学長、田中副学長、小松副学長、代田経営学部長、綱地域創造学部長、森田国際社会学部長、平岡情報システム学部長、上村国際情報学研究科長、大塚看護栄養学部長兼人間健康科学研究科長、三戸経済学研究科長、下野附属図書館長、石田佐世保校附属図書館長、百岳事務局長、平川シーボルト校事務局長、山田学生支援部長
配付資料	<p>【資料1】教員の採用について</p> <p>【資料2】日本・スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)とのパートナーシップ協定締結について</p> <p>【資料3】長崎県公立大学法人と泰日経済技術振興協会(TPA)との連携協定について</p> <p>【資料4】長崎県公立大学法人と独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携に関する覚書について</p> <p>【資料5】令和元年度卒業予定者内定取得状況について</p>
議事	<p>【協議事項1. 教員の採用について】</p> <p>資料1に基づき、情報システム学部長より次のような説明があり、了承された。</p> <p>情報システム学部情報セキュリティ学科教員2名の採用についてである。採用予定年月日は令和2年4月1日、採用予定職位はどちらも准教授、専門分野は情報数理分野とサイバーセキュリティ・情報基盤分野、担当科目は数学等とコンピュータ・ネットワーク等である。</p> <p>資料1に基づき、看護栄養学部長より次のような説明があり、了承された。</p> <p>看護栄養学部看護学科教員2名の採用についてである。採用予定年月日は令和2年4月1日、採用予定職位はどちらも教授、専門分野は成人看護学分野と地域看護学分野、担当科目は成人看護学概論等と地域看護学概論等である。</p> <p>【協議事項2. 教員の退職について】</p> <p>資料なし。地域創造学部長より次のような説明があり、了承された。地域創造学部実践経済学科の教授1名から退職願が提出されている。退職希望年月日は令和2年3月31日である。</p> <p>【協議事項3. 日本・スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)とのパートナーシップ協定締結について】</p> <p>資料2に基づき、副学長より次のような説明があり、了承された。</p> <p>協定は無償で締結ができ、JSAFのプログラムを利用する本学学生への奨学金提供も可能となることから協定を締結し、学内の学生の留学における選択肢を増やしたいと考える。</p>

【報告事項 1. 教員の採用について】

資料なし。学長より次のように報告された。

先ほど協議いただいた地域創造学部実践経済学科退職者の後任に関する教員の選考手続きである。

令和2年4月1日付けで採用するためには公募による教員採用では間に合わないと考えられる。

そこで、「長崎県公立大学法人教員選考及び昇任に関する規程」第9条第2項により、公募によらない教員採用の手続きに入りたいと考える。

【報告事項 2. 長崎県公立大学法人と泰日経済技術振興協会（TPA）との連携協定について】

資料3に基づき報告された。

本協定は、泰日経済技術振興協会（TPA）と長崎県公立大学法人それぞれが有する学術的知識や資源に基づく教育研究、社会貢献等の活動を推進するため、相互に連携協力することを目的としている。

【報告事項 3. 長崎県公立大学法人と独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携に関する覚書について】

資料4に基づき報告された。

本覚書で JICA 及び大学法人は、覚書に基づく連携協力により双方の組織又は組織の関係者のみならず、我が国及び開発途上地域の人々に資するため、協力して必要な努力を行うことを目的としている。

【報告事項 4. 令和元年度卒業予定者内定取得状況について】

資料4に基づき報告された。

令和元年12月末時点での内定状況は、大学全体は93.5%であり、前年度同期と比較して3.2ポイントの増である。経営学部94.8%、地域創造学部93.1%、国際社会学部100%、情報システム学部93.8%、看護栄養学部100%である。また、県内就職は28%である。

以上